

科目名	校外研修 2							年度	2025
英語科目名	Off-campus Training 2							学期	後期
学科・学年	情報ビジネス科 1年次	必／選	選	時間数	30	単位数	1	種別※	実習
担当教員	風間 恵		教員の実務経験		無	実務経験の職種		企業研修講師	
【科目の目的】									
この科目の目的は、学生が実際の現場での経験を通じて、新たな知識や視野を得るとともに、自己成長を促進し、広く見聞を広げることです。学生は最新ビジネス商品展示会や工場見学、地域の旧跡見学などの活動を通じて得た知識をまとめ、レポートなどの形で成果を報告します。									
【科目の概要】									
この科目では、学生は学内だけでなく学外での学習体験を通じて、新しい知識を得ることを目指します。最新ビジネス商品展示会や工場見学、文化遺産の見学などのさまざまな活動を通じて、自分の担当分野以外の知識を深め、見聞を広げます。学生は得た知識や経験をまとめて報告し、その成果を共有します。									
【到達目標】									
研修内容の理解と活用 知識の実践への展開 見聞の広がり と 知識向上 レポートの質と深さ コミュニケーション能力									
【授業の注意点】									
研修をより有意義なものとするため、積極的な参加姿勢(質問など)を重要視している。また、社会への移行を前提とした受講マナーで参加し、展示会・講習会中の私語や受講態度などには厳しく対応する。(詳しくは初回のガイダンスで説明する。)理由のない遅刻や欠席は認めない。また、授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受講することができない。									
評価基準＝ルーブリック									
ルーブリック 評価	レベル5 優れている	レベル4 よい	レベル3 ふつう	レベル2 あと少し	レベル1 要努力				
到達目標 A	研修先での内容を深く理解し、それを担当分野と結びつけて有益な知識を得る	研修先での内容を理解し、担当分野と関連付けて有益な知識を獲得する	研修先での内容を基本的に理解し、一般的な知識を得る	研修先での内容の理解に課題があり、担当分野との結びつけが不十分である	研修先での内容の理解が不足しており、獲得した知識を活かすことができない				
到達目標 B	研修先で得た知識や体験を実生活や学習に活かし、具体的な実践行動につなげる	研修先で得た知識や体験を学習に活かし、実践行動を示す	研修先で得た知識や体験を一部実生活や学習に活かし、その実践行動を示す	研修先で得た知識や体験を実践への展開において課題があり、具体的な実践行動が限定的である	研修先で得た知識や体験の実践への展開が不十分であり、その影響が限定的である				
到達目標 C	研修先での見学や体験を通じて、自身の視野を広げ、新たな知識を獲得する	研修先での見学や体験により視野を広げ、新たな知識を得る	研修先での見学や体験を通じて一部視野を広げ、知識を得る	研修先での見学や体験において課題があり、視野の広がりや新たな知識の獲得が限定的である	研修先での見学や体験の効果が限定的であり、視野の広がりや新たな知識の獲得が不十分である				
到達目標 D	研修内容を適切に整理し、深い洞察と分析を含む質の高いレポートを作成する	研修内容を整理し、適切な洞察と分析を含むレポートを作成する	研修内容を基本的に整理し、一部洞察と分析を含むレポートを作成する	レポートの質や深さに課題があり、内容の整理や洞察、分析が不足している	レポートの質や深さが不十分であり、研修内容の整理や洞察、分析が欠如している				
到達目標 E	研修先での体験や学びを適切に他者に伝え、意見交換やディスカッションに積極的に参加する	研修先での学びや体験を他者に伝え、意見交換やディスカッションに参加する	研修先での学びや体験を一部他者に伝え、意見交換やディスカッションに一部参加する	コミュニケーション能力に課題があり、研修内容や学びを適切に他者に伝えられない場合がある	コミュニケーション能力が不足しており、研修内容や学びを他者に適切に伝えられない可能性がある				
【教科書】									
【参考資料】									
事前に研修先情報として、資料を配布									
【成績の評価方法・評価基準】									
レポート	50%	授業内容の理解度を確認するために実施する							
成果発表(口頭・実技)	50%	授業時間内に行われる発表方法、内容について評価する							
※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。									

科目名		校外研修 2				年度	2025
英語表記		Off-campus Training 2				学期	
回数	授業テーマ	各授業の目的	授業内容		到達目標＝修得するスキル	評価方法	自己評価
1	ガイダンス	事前に準備しておくべきことを理解できる	1	イベント参加方法	イベントの趣旨、参加方法、参加態度について理解する	3	
			2	調査方法	必要な情報を得るための調査方法を身に着ける		
2	事前準備(1)	出展ブースについて調べ、疑問点を整理できる	1	出展ブース事前調査(1)	出展ブースの企業、製品について理解する	3	
			2	出展ブース事前調査(2)	出展ブースの企業、製品について疑問点を洗い出す		
3	事前準備(2)	出展ブースについて調べ、疑問点を整理できる	1	出展ブース事前調査(1)	出展ブースの企業、製品について理解する	3	
			2	出展ブース事前調査(2)	出展ブースの企業、製品について疑問点を洗い出す		
4	事前準備(3)	出展ブースについて調べ、疑問点を整理できる	1	出展ブース事前調査(1)	出展ブースの企業、製品について理解する	3	
			2	出展ブース事前調査(2)	出展ブースの企業、製品について疑問点を洗い出す		
5	企業説明へ参加(1)	説明を聞き、企業に伝わるように質問ができる	1	イベント参加(1)	社会人になる立場として適切な立居振舞ができる	3	
			2	イベント参加(2)	企業の説明を聞き、疑問点に関して質問することができる		
6	企業説明へ参加(2)	説明を聞き、企業に伝わるように質問ができる	1	イベント参加(1)	社会人になる立場として適切な立居振舞ができる	3	
			2	イベント参加(2)	企業の説明を聞き、疑問点に関して質問することができる		
7	企業説明へ参加(3)	説明を聞き、企業に伝わるように質問ができる	1	イベント参加(1)	社会人になる立場として適切な立居振舞ができる	3	
			2	イベント参加(2)	企業の説明を聞き、疑問点に関して質問することができる		
8	企業説明へ参加(4)	説明を聞き、企業に伝わるように質問ができる	1	イベント参加(1)	社会人になる立場として適切な立居振舞ができる	3	
			2	イベント参加(2)	企業の説明を聞き、疑問点に関して質問することができる		
9	企業説明へ参加(5)	説明を聞き、企業に伝わるように質問ができる	1	イベント参加(1)	社会人になる立場として適切な立居振舞ができる	3	
			2	イベント参加(2)	企業の説明を聞き、疑問点に関して質問することができる		
10	企業説明へ参加(6)	説明を聞き、企業に伝わるように質問ができる	1	イベント参加(1)	社会人になる立場として適切な立居振舞ができる	3	
			2	イベント参加(2)	企業の説明を聞き、疑問点に関して質問することができる		
11	企業説明へ参加(7)	説明を聞き、企業に伝わるように質問ができる	1	イベント参加(1)	社会人になる立場として適切な立居振舞ができる	3	
			2	イベント参加(2)	企業の説明を聞き、疑問点に関して質問することができる		
12	企業説明へ参加(8)	説明を聞き、企業に伝わるように質問ができる	1	イベント参加(1)	社会人になる立場として適切な立居振舞ができる	3	
			2	イベント参加(2)	企業の説明を聞き、疑問点に関して質問することができる		
13	資料作成・発表(1)	校外研修の内容を資料にまとめ、発表する	1	報告作成方法	入手した情報を整理しまとめる力を身に着ける	3	
			2	報告作成	入手した情報について体系的に整理し知識を定着させる		
			3	報告発表	入手した情報を他者に効果的に説明、発表できる		
14	資料作成・発表(2)	校外研修の内容を資料にまとめ、発表する	1	報告作成方法	入手した情報を整理しまとめる力を身に着ける	3	
			2	報告作成	入手した情報について体系的に整理し知識を定着させる		
			3	報告発表	入手した情報を他者に効果的に説明、発表できる		
15	資料作成・発表(3)	校外研修の内容を資料にまとめ、発表する	1	報告作成方法	入手した情報を整理しまとめる力を身に着ける	3	
			2	報告作成	入手した情報について体系的に整理し知識を定着させる		
			3	報告発表	入手した情報を他者に効果的に説明、発表できる		

評価方法：1. 小テスト、2. パフォーマンス評価、3. その他

自己評価：S：とてもよくできた、A：よくできた、B：できた、C：少しできなかった、D：まったくできなかった

備考 等